



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 株式会社グローバルキッズCOMPANY

上場取引所 東

コード番号 6189 URL <https://www.gkids.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 宜忠

問合せ先責任者 (役職名) 財務IR部長 (氏名) 生川 雅也

TEL 03-3221-3770

四半期報告書提出予定日 2020年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	10,977	18.2	195	21.0	241	3.3	147	4.3
2019年9月期第2四半期	9,284	13.0	247	29.0	234	26.7	141	15.3

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 159百万円 (5.6%) 2019年9月期第2四半期 150百万円 (28.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	16.09	15.72
2019年9月期第2四半期	15.53	15.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	21,409	7,871	36.7
2019年9月期	18,259	7,706	42.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 7,852百万円 2019年9月期 7,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		0.00	0.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	14.2	300	72.7	630	64.7	420	62.4	45.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	9,190,880 株	2019年9月期	9,105,071 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	1,072 株	2019年9月期	171 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	9,175,917 株	2019年9月期2Q	9,117,532 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大等により経済活動の停滞懸念が台頭しており、景気の減速感が強まっております。

このような環境のなか子育て支援事業を取り巻く状況は、女性の社会進出に対する意識の変化や政府による女性の活躍推進などにより、共働き世帯数や女性の就業率は上昇傾向にあり、保育に対する需要は引き続き高い状況にあります。

こうした保育需要増加に対応するため、政府・自治体が保育の受け皿拡大を目的に保育士確保や保育所整備の施策を進めており、2020年度末までに保育の受け皿を300万人分程度とする方針を掲げています。こうした政府の取り組みの結果、保育所数が増加していることもあり、保育所の新設に対する需要は今後、ややペースダウンすることが想定されます。一方で、東京都心部では人口流入による、保育需要の増加が続いていることから、地域による濃淡はあるものの、保育所の新設に対する需要は当面の間、一定程度続くと見込まれます。

高齢化や総人口の減少による労働人口の減少が懸念されるなかで、経済の活力の担い手となる女性の社会進出のためには保育環境の整備、保育の質向上が課題であり、子育て支援事業者の社会的役割は一段と重要性を増しております。

こうした状況下、当第2四半期末時点で、当社グループは認可保育所118施設(東京都86施設、神奈川県23施設、千葉県3施設、埼玉県1施設、大阪府5施設)、認証保育所・認定こども園等保育施設23施設、企業主導型保育所11施設、学童クラブ・児童館13施設、児童発達支援事業所1施設の計166施設を営んでおります。

なお、当第2四半期連結会計期間において新たな施設の開設準備を進め、以下のとおり2020年4月1日に認可保育所7施設、5月1日に児童発達支援事業所2施設を新規に開設しております。

(保育所)

東京都

グローバルキッズしののめ園
 グローバルキッズ曳舟保育園
 グローバルキッズ目黒園
 グローバルキッズ六郷保育園
 グローバルキッズ小金井第二保育園

神奈川県

グローバルキッズ大倉山園
 グローバルキッズ大船園

(児童発達支援事業所)

神奈川県

グローバルキッズ Act大倉山
 グローバルキッズ Act宮前平

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、運営施設数の増加を主因とした園児数増加により売上高が増加しました。一方で、販売費及び一般管理費の抑制を進めたものの、保育の質向上を目的とした働き方改革を戦略的に進めたことで人件費が増加し売上原価が増加しました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高10,977百万円(前年同期比18.2%増)、営業利益195百万円(同21.0%減)、経常利益241百万円(同3.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益147百万円(同4.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,149百万円増加し21,409百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して2,771百万円増加し6,582百万円となりました。これは、未収入金が195百万円減少した一方、4月の新規開園に備え現金及び預金が2,818百万円増加したことが主因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して378百万円増加し14,827百万円となりました。これは、建物及び構築物が339百万円減少したものの、新規開園に向け建設仮勘定が684百万円増加したことが主因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比較して2,984百万円増加し13,537百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して3,005百万円増加し6,092百万円となりました。これは、新規開園準備のため短期借入を2,700百万円実行したほか、未払金が252百万円増加したことが主因です。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して21百万円減少し7,445百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が24百万円増加した一方、繰延税金負債が42百万円減少したことが主因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して165百万円増加し7,871百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が147百万円増加したことが主因です。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、4,299百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、921百万円(前第2四半期連結累計期間は66百万円の増加)となりました。これは、新園開設に係る支払いにより前払費用が142百万円増加した一方、税金等調整前四半期純利益263百万円、未払金の増加252百万円、減価償却費399百万円が発生したことが主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して収入が854百万円増加しております。これは、未収入金の増減額が204百万円増加、前払費用の増減額が278百万円増加、税金等調整前四半期純利益が29百万円増加、法人税等の支払額が140百万円減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、797百万円(同2,511百万円の減少)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が693百万円、敷金及び保証金の差入による支出が82百万円発生したことが主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して支出が1,713百万円減少しております。これは、敷金及び保証金の回収による収入が17百万円減少、無形固定資産の取得による支出が15百万円増加した一方、有形固定資産の取得による支出が1,720百万円減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は2,695百万円(同5,045百万円の増加)となりました。これは、長期借入金の返済による支出が457百万円ありましたが、一方で短期借入金の増加が2,700百万円、長期借入による収入が478百万円あったことが主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して収入が2,350百万円減少しております。これは、短期借入金の純増減額が1,600百万円減少、長期借入による収入が744百万円減少したこと等によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期通期の連結業績予想につきましては、2019年11月13日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,480	4,299
未収入金	1,932	1,736
前払費用	392	540
その他	6	6
流動資産合計	3,810	6,582
固定資産		
有形固定資産		
土地	589	589
建物及び構築物(純額)	10,640	10,301
建設仮勘定	32	716
その他(純額)	437	393
有形固定資産合計	11,701	12,001
無形固定資産		
ソフトウェア	30	45
ソフトウェア仮勘定	23	34
無形固定資産合計	54	80
投資その他の資産		
投資有価証券	79	111
長期前払費用	705	666
敷金及び保証金	1,546	1,617
建設協力金	324	314
繰延税金資産	10	8
その他	26	26
投資その他の資産合計	2,693	2,744
固定資産合計	14,448	14,827
資産合計	18,259	21,409
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	2,700
1年内返済予定の長期借入金	907	929
1年内償還予定の社債	23	—
未払金	1,228	1,481
未払法人税等	93	172
前受金	71	9
賞与引当金	553	553
その他	209	246
流動負債合計	3,087	6,092
固定負債		
長期借入金	5,032	5,030
退職給付に係る負債	255	280
繰延税金負債	1,852	1,810
資産除去債務	319	320
その他	6	4
固定負債合計	7,466	7,445
負債合計	10,553	13,537

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,275	1,278
資本剰余金	1,963	1,966
利益剰余金	4,522	4,670
自己株式	△0	△1
株主資本合計	7,760	7,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	△72	△61
その他の包括利益累計額合計	△73	△61
新株予約権	19	19
純資産合計	7,706	7,871
負債純資産合計	18,259	21,409

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	9,284	10,977
売上原価	7,860	9,598
売上総利益	1,424	1,379
販売費及び一般管理費	1,176	1,183
営業利益	247	195
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	4
補助金収入	—	54
その他	0	2
営業外収益合計	5	61
営業外費用		
支払利息	16	14
その他	2	0
営業外費用合計	19	15
経常利益	234	241
特別利益		
事業譲渡益	—	27
特別利益合計	—	27
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	234	263
法人税等	92	115
四半期純利益	141	147
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	141	147
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	9	11
その他の包括利益合計	9	11
四半期包括利益	150	159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150	159
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	234	263
減価償却費	326	399
補助金収入	-	△54
事業譲渡損益 (△は益)	-	△27
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34	42
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	16	14
未収入金の増減額 (△は増加)	△8	196
前払費用の増減額 (△は増加)	△421	△142
未払金の増減額 (△は減少)	245	252
前受金の増減額 (△は減少)	△89	△62
その他	△49	61
小計	285	944
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△16	△14
法人税等の支払額	△205	△65
補助金の受取額	-	54
営業活動によるキャッシュ・フロー	66	921
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,414	△693
無形固定資産の取得による支出	△5	△21
敷金及び保証金の差入による支出	△81	△82
敷金及び保証金の回収による収入	18	1
建設協力金の回収による収入	12	12
関係会社株式の取得による支出	△18	-
その他	△22	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,511	△797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,300	2,700
長期借入れによる収入	1,222	478
長期借入金の返済による支出	△457	△457
社債の償還による支出	△17	△23
リース債務の返済による支出	△2	△2
ストックオプションの行使による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,045	2,695
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,600	2,818
現金及び現金同等物の期首残高	1,301	1,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,901	4,299

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。